

連合愛媛 第32回定期(年次)大会

第32回定期(年次)大会
スローガン

安心社会へ新たなチャレンジ ～すべての働く仲間とともに 「必ずそばにいる存在」へ～

連合愛媛の第32回定期(年次)大会が11月18日(金)、愛媛県勤労会館において開催されました。昨年同様、新型コロナウイルス感染症の影響により縮小開催とし、ご来賓には各事業団体の代表者、役員・代議員・特別代議員等79名が出席しました。

はじめに、主催者を代表し菊川会長は、①コロナ禍と生活状況について ②2022春闘の結果および愛媛県最低賃金 ③組織化・組織拡大と集团的労使関係 ④政治への対応等に触れ、「今大会は、7つの柱について課題と取り組みを補強。労働運動がめざすものは、組合員のみならず、すべての働く仲間・生活者の幸せの追求。これまでとは異なる局面での運動展開が求められているが、私たち連合は、取り巻く環境の変化に対応し、すべての働く仲間・生活者の先頭に立ち、誰一人取り残されることのない持続的で包括的な社会の実現に向けて、一つひとつの課題解決を着実に前進させていこう!」と力強くあいさつしました。

次に報告事項では、①2022年度一般活動報告、②2022年度会計報告ならびに会計監査報告を行い、満場一致で承認されました。引き続き審議事項では、①2023年度取り組み(案)、②2023年度予算(案)、③2022～2023年度役員の一部交代(案)を提起し、満場一致で承認・採択されました。

なお、今大会で退任されました、電力総連の渡辺前副会長、JP労組の清水前副会長、UAゼンセンの西岡前執行委員、UAゼンセンの津川前執行委員、電機連合の濱田前執行委員、国公総連の池内前執行委員、メディア労連の玉川前会計監査の方々には、今日までのご尽力に心から感謝申し上げますとともに、今後のご活躍をご祈念申し上げます。最後に菊川会長より「団結ガンパロー三唱」を行い、閉会しました。



執行部を代表してあいさつをする菊川会長



事業団体を代表してあいさつをする杉本理事長(四国労金)



左:森田貴之(自治労)議長団
右:坂田真三(JP労組)



団結ガンパロー三唱

連合愛媛 2022～2023年度 新役員

役職名	氏名	産別名	単組名
副会長	石川 彰規	J P 労組	日本郵政グループ労働組合四国地方本部愛媛連絡協議会
	小川 剛	電力総連	四国電力労働組合
	竹筒平 貴隆	電機連合	電機連合愛媛地域協議会
副事務局長	上甲 章史	電機連合	PHC労働組合
執行委員	村井 純一	UAゼンセン	東レ労働組合愛媛支部
	萩岡 聖士	UAゼンセン	いよてつ高島屋労働組合
	高谷 鮎香	電力総連	四国電力労働組合
	高岡 敏弘	電機連合	東芝E Iコントロールシステム労働組合四国支部
	和家 美奈子	国公総連	全農林労働組合愛媛分会
会計監査	丹生谷 慎	メディア労連	日本放送労働組合四国支部



新しく加わった執行部メンバー

第32回定期(年次)大会 表彰者

役職名	氏名	産別名	任 期	在任期間
副会長	渡辺 良一	電力総連	副会長 3年11ヵ月	18.11～22.11
	清水 拓郎	J P 労組	副会長 11ヵ月	21.11～22.11
執行委員	西岡 英二	UAゼンセン	執行委員 3年11ヶ月	18.11～22.11
	津川 隆史	UAゼンセン	執行委員 11ヶ月	21.11～22.11
	濱田 英樹	電機連合	執行委員 1年11ヶ月	20.11～22.11
	池内 勝也	国公総連	執行委員 2年11ヶ月	19.11～22.11
役職名	氏名	産別名	任 期	在任期間
会計監査	玉川 祐一郎	メディア労連	会計監査 11ヵ月	21.11～22.11



退任あいさつをする西岡前執行委員(UAゼンセン)



退任あいさつをする濱田前執行委員(電機連合)



2023年度連合愛媛 政策・制度 愛媛県に対する『要求と提言』 ～8つの柱88項目について要求を行う～



連合愛媛は11月25日(金)愛媛県庁議事堂(総務企画委員会室)において2023年度の「政策・制度要求」を菊川会長をはじめ政策委員会宮崎委員長と事務局の計5名が出席し、愛媛県に対し要請を行いました。本来なら、政策委員会委員等を含め要請するところですが、コロナ禍の状況を鑑み、人数を限定しての要求行動となりました。はじめに、菊川会長より「コロナ禍における経済、雇用情勢をはじめ、幅広い意見交換をお願いします。」とあいさつしました。

その後、8つの柱・88項目について「連合愛媛2023年度政策・制度」として要請を行いました。

続いて、寺田副事務局長から出された要請内容の補足を含め、①愛媛県立高等学校再編整備に関し、十分な議論を尽くすこと、併せて、学校教員はもとより保育士の労働実態を把握し改善すること。②外国人技能実習生に関し、賃金未払い問題や不当な扱いに関すること。③愛媛県の最低賃金に関して、地方流出を抑えるための人材確保策に関すること、などについて意見交換を行い、今回の要請内容を踏まえながら、2023年度愛媛県の政策に反映して行くことを確認しました。

要請の抜粋 8つの柱(88項目)

- I. 新型コロナウイルス感染症に関する対策 … 7項目
- II. 持続可能で健全な経済の発展 … 7項目
- III. 雇用の安定と公正労働条件の確保 … 16項目
- IV. 安心できる社会保障の確立 … 12項目
- V. 社会インフラの整備・促進 … 9項目
- VI. 暮らしの安心・安全の構築 … 11項目
- VII. 民主主義の基盤強化と国民の権利保障 … 13項目
- VIII. ジェンダー平等政策 … 13項目

把握し改善すること。②外国人技能実習生に関し、賃金未払い問題や不当な扱いに関すること。③愛媛県の最低賃金に関して、地方流出を抑えるための人材確保策に関すること、などについて意見交換を行い、今回の要請内容を踏まえながら、2023年度愛媛県の政策に反映して行くことを確認しました。

連合四国ブロック青年委員会・女性委員会 平和学習 in 沖縄報告

連合四国ブロックは、戦後70周年に実施予定であった青年委員会・女性委員会平和学習を、7年越しに開催し、11月26日(土)～27日(日)にかけて、連合愛媛から青年委員会2名、女性委員会2名と事務局の5名が参加しました。

11月26日(土)、四国各県から総勢21名が「対馬丸記念館」に集まり、対馬丸が撃沈された事件について、学習しました。「対馬丸は、昭和19年(1944年)戦争の足音が徐々に近づくと、老・幼・婦女子は県外へと疎開するよう指示され、対馬丸は学童集団疎開の子どもたちをたくさん乗せ8月21日那覇港を出港、しかし海はすでに戦場で翌日の夜10時過ぎ米潜水艦の魚雷により海に沈められ、1,788名のうち約8割の人々が亡くなったそうで、犠牲者の遺影・遺品などが多く展示されていました。」27日(日)は、コザの街並みをフィールドワークし、「米軍基地の門前町として栄え、外国人相手の店や外国人経営の店が並び異国情緒溢れ、外国にきたような感覚になりました。午後は、黄金森の南風原陸軍病院群を見学し、飯上げの道を実際に歩き、当時ふもとで調理した食料をタルに詰め、二人一組で足場の悪い斜面を銃撃・砲弾を避けながら命をつないだ道として語り継がれていました。その後、糸数アブチラガマに入壕し、ひめゆり学徒隊の壮絶な体験を聞き、自分たちの子や孫たちにこんな体験はさせたくない!絶対に戦争はしてはいけない!と強く感じました。」今回の平和学習は、今まで行ったことのない場所も多く、実際に現場に行き、見て、聞いて、多くのことを考えさせられました。この経験を次世代の若人に伝え、世界の恒久平和を願いたいと思います。



糸数アブチラガマ入壕前の説明を受ける参加者